

1. 科目名 (単位数)	音楽実践演習 (2 単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	林麻由美		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	保育現場における音楽活動に関する知識、技術を身につけ、理解を深める。保育現場では、歌唱、合奏、リズム活動など様々な音楽活動において鍵盤楽器が使用されるため、現場を想定した演奏技術を身につけなければならない。具体的には、ピアノ演奏技術とピアノ伴奏によって歌う能力を習得する。また、これらの技術・能力の習得のために必要な読譜や音楽のしくみに関する基礎的な知識や理論についても実践を通して学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができる。 2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につける。 3. 正しい音程で歌い、歌詞の内容を表現できる歌唱力を養う。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 弾き歌い：説明された方法で練習してください。 2. うた：保育・教育現場で保育者が歌うことが大切であることを忘れずに、まず歌いましょう。 3. 音楽理論：基本事項についての練習問題を課すことがあります。 4. 「こどもの歌」の弾き歌いの試験を実施します。 		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 本野洋子・杉原由利子編著『これだけは歌って弾こう 子どもの歌 70』共同音楽出版社 【参考書】 全音楽譜出版部編『標準バイエル教則本』全音楽譜出版社		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができるか。 2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につけたか。 3. 歌うための発声を習得し、歌うことができるか。 ○評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表 総合点の 50% 2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど 総合点の 30% 3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など) 総合点の 20% 上記のほか、本学規定に定められている 3/4 以上の出席を単位認定の条件としている。		
12. 受講生への メッセージ	保育者に必要な音楽理論と技能を身につけるために様々な演習を行います。また弾き歌いに関しては、歌うことに意識を向けられるような練習方法を提示しますので、その方法で練習を重ねてください。見えてくるものがあると思います。授業内で配付したプリントを貼るスケッチブックなどを用意してください。		
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業概要の説明。弾き歌いの練習法の提示。歌唱、言葉のリズム遊びなど弾き歌いにつながる活動	事前学習	季節の歌を歌えるようにしておく。
		事後学習	授業で歌った歌の歌詞を覚える。メロディを弾けるようにする。
第 2 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：高音部譜表早読み演習。基本の拍の 2 分割、及び、2 倍の長さについて	事前学習	説明した練習方法で課題曲を練習する。
		事後学習	片手練習＋歌で弾き歌いの練習を続ける。
第 3 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：第 2 回を基にしたリズム演習	事前学習	説明した練習方法で課題曲を練習する。
		事後学習	片手練習＋歌で弾き歌いの練習を続ける。
第 4 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：第 2 回を基にした即興リズム作り	事前学習	説明した練習方法で課題曲を練習する。
		事後学習	片手練習＋歌で弾き歌いの練習を続ける。
第 5 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：基本の拍の 4 分割について	事前学習	即興リズム作りの復習。課題曲の練習。
		事後学習	片手＋歌の練習から両手＋歌へ繋げる流れをつかみ、個人練習の中で習得する。
第 6 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：第 5 回を基にしたリズム演習	事前学習	リズム演習の復習。課題曲の練習を行う。
		事後学習	歌詞を意識した弾き歌い練習を行う。
第 7 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：音程 (音と音の隔たり) について	事前学習	リズム演習の復習。課題曲の練習を行う。
		事後学習	音程 (音と音の隔たり) について復習する。課題曲の練習を行う。
第 8 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：ハ長調の音階と音階上の和音について	事前学習	歌詞を意識した弾き歌いの練習を行う。
		事後学習	ハ長調の音階と音階上の和音を復習する。
第 9 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：ハ長調の音階と主要三和音について	事前学習	歌詞を意識した弾き歌いの練習を行う。
		事後学習	ハ長調の音階と主要三和音の復習
第 10 回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：コードネームについて	事前学習	歌詞を意識した弾き歌いの練習を行う。
		事後学習	課題曲をコードネームを見ながら弾けるように練習する。

第11回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：へ長調の音階と主要三和音について	事前学習	歌詞を意識した弾き歌いの練習を行う。
		事後学習	へ長調の音階と主要三和音を復習する。
第12回	課題曲の弾き歌いの集団演習と個人レッスン 音楽理論と演習：ト長調の音階と主要三和音について	事前学習	歌詞を意識した弾き歌いの練習を行う。
		事後学習	ト長調の音階と主要三和音を復習する。
第13回	子どもの歌+簡単なリズム楽器でアンサンブル①	事前学習	歌いながら手拍子することに慣れておく。 歌詞を意識した弾き歌いの練習を行う。
		事後学習	子どもの歌のリズムパターンを考える。
第14回	子どもの歌+簡単なリズム楽器でアンサンブル②	事前学習	歌いながら手拍子することに慣れておく。 歌詞を意識した弾き歌いの練習を行う。
		事後学習	自身で考えたリズムパターンを楽譜にする。
第15回	子どもの歌の弾き歌いテスト	事前学習	弾き歌いのテストの準備をする。
		事後学習	自身の演奏を振り返る。
期末試験：受講者の人数により実施するかしないかを決定する。			